

平成27年度農との共生田園都市豊かなくらし満喫事業実績報告

事業主体名：神泉の郷有機農業推進協議会

〔活動地域の概要〕

- 1 活動地域：神川町阿久原地区
- 2 利活用する田園資源：農地
- 3 協働する団体名とその概要
 - ①地域の有機農業グループ
神川町下阿久原地区を中心に児玉郡内で有機栽培を行う農家10戸。
 - ②地域の加工業者
神川町下阿久原地区及びの周辺で食品加工業を営む企業5社。工場見学や特産品加工などを行う。

〔活動の内容〕

- 1 地域の課題と目的

かつては本地域の基幹産業であった農業だが、地域の少子高齢化や採算性などにより遊休農地が問題となっている。

これまでの取組の中で地域活性化を促すには、付加価値のある農産物の作付けや特産となる農産物加工品の開発が必要である。

また、特色ある農産物や加工品をつくるために、これまで以上に都市との交流が必要であり、こうした取り組みを地域に波及させ、「点から面」の活動にする必要がある。

このため、遊休農地の発生防止や解消を通じた農地の保全・有効利用を進め、農業と農村の活性化を図るとともに、環境保全に配慮した農業の多面的機能の発揮に努め、観光交流型農業を目指し、都市住民との交流を推進するとともに、その中で消費者ニーズを吸い上げ付加価値のある農産物及び加工品を生産・販売に努め、持続可能な農業を目指す。

また、都市住民との交流の中で、それを地域活性の起爆剤として、地域に波及させ地域内での交流を深め、「点から面」の取組を目指す。
- 2 活動概要
 - (1) 「畑の楽校」開催
体験農園にて、7月19日、8月2日、23日、9月6日、20日、10月4日、18日に都市部中心に希望者を募り（毎回5～10名参加）、農業交流を開催し、農園の除草作業や播種などの作業を行った。
 - (2) 収穫体験の開催
 - ① 10月25日、マンション管理会社の東急コミュニティ及び神川町主催によるグリーンツーリズムを開催。マンション住民から希望者を募り、1家族48名が参加。城峰公園をはじめ神川町の観光施設を回る。本協議会としてその中で有機農場での収穫体験やものづくり体験を行った。

〔活動の成果〕

- 1、体験農園の整備を行うことができた。
- 2、交流を通して、都市部の住民の農業への理解が図られるとともに、農業者の営農意欲が向上している。

〔実績〕

- 1 畑の楽校の計画を12月までに実施した。
- 2 交流会や料理検討会を実施した。
- 3 今後、次年度の活動に向けた打ち合わせを行う。

〔活動写真等〕



畑の楽校 7月19日



畑の楽校 8月23日



畑の楽校 9月6日



畑の楽校 10月4日



料理検討会 2月12日



交流会 2月21日